

# デジタルワイヤレスチューナーユニット WTU-D2810

## 目次

設定の前に .....	2
本書について .....	2
機器の組み合わせ .....	2
周波数の設定が必要なとき .....	2
組み合わせるシステムによる設定の相違点 .....	2
周波数設定のしかた .....	3
同じ場所でデジタルワイヤレスシステムのみを 使用する場合（最大 15 波） .....	3
同じ場所でアナログワイヤレスシステムを併用する場合（最大 6 波） .....	4
モード設定のしかた .....	6
10 ch モードと 15 ch モードの概要 .....	6
モードの切り換えかた .....	6
コード設定のしかた .....	7
コード設定の概要 .....	7
設定のしかた .....	7




このたびは、TOA デジタルワイヤレスチューナーユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必要に応じてこの周波数設定ガイドをお読みになり、末長くご愛用くださいますよ  
うお願い申し上げます。

# 設定の前に

## ■ 本書について

本書では、デジタルワイヤレスチューナーユニット WTU-D2810 を TOA 製ワイヤレスアンプなどに組み込んで使用する場合に必要な、周波数と関連項目の設定方法を説明します。

WTU-D2810 を使用するときには、必要に応じて下記 3 点の設定が必要です。

- ・周波数（グループ、チャンネル）設定（ P.3）
- ・モード設定（ P.6）
- ・コード設定（ P.7）



## ■ 機器の組み合わせ

### ● WTU-D2810 とワイヤレスマイクの組み合わせ

本機はデジタル方式のワイヤレスチューナーユニットです。以下のデジタル方式のワイヤレスマイクと組み合わせて使用してください。使用できるワイヤレスマイクを別途ご用意ください。チューナーユニット 1 台に対して、1 本のワイヤレスマイクが使用できます。

使用できるワイヤレスマイク: TOA 製 800 MHz 帯デジタルワイヤレスマイク (WM-D1210、WM-D1310 など)

#### ■ ご注意

- モード切換スイッチのない TOA 製 800 MHz 帯デジタルワイヤレスマイクも使用できますが、設定に制限があります。（ P.3、 P.6）
- TRANTEC のデジタルワイヤレスマイクの電波は受信できません。

### ● 同じ場所で複数のワイヤレスマイクを使用する場合のシステムの組み合わせ

同じ場所で複数のワイヤレスマイクを使用する場合、デジタル方式のチューナーユニットとワイヤレスマイクのシステムですべて揃えることをお勧めします。



アナログ方式のチューナーユニットとワイヤレスマイクの組み合わせを混在させて使用することもできますが、同時に使用できる周波数は最大 6 波です。（ P.4）

## ■ 周波数の設定が必要なとき


- 同じ場所で複数のワイヤレスマイクを同じ周波数で使用することはできません。同じ場所で複数のワイヤレスマイクを使用するときは、使用可能な周波数の組み合わせの中から、異なる周波数に設定してください。
- ワイヤレスマイクの電源を入れていないのに、WTU-D2810 を組み込んだ機器の受信表示灯が点灯または点滅するときは、その周波数が他のワイヤレスシステムで使用中です。他の周波数に変更してください。
- 使用中に混信が発生するときは、周波数の設定を変更してください。

## ■ 組み合わせるシステムによる設定の相違点

### ● デジタルワイヤレスのみのとき

- デジタル専用の周波数が使用できます。同一場所での同時使用は最大 15 チャンネルです。（ P.3）
- 同一チャンネルを近接した場所で使用する場合に、異なるコードを使用することにより、混信を避けることができます。（ P.7）

### ● アナログワイヤレスと併用するとき

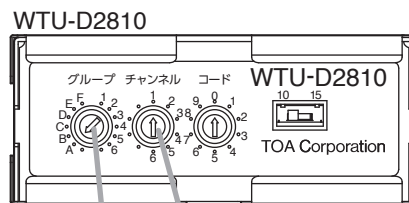
アナログ併用の周波数設定になります。同一場所での同時使用は最大 6 チャンネルです。ただし、周波数の配置に注意が必要です。（ P.4）

# 周波数設定のしかた

グループとチャンネルの組み合わせで周波数を設定します。お買い上げ時はグループ番号 A、チャンネル番号 1（チャンネル呼称 BA1）に設定されています。付属の設定用ドライバーで設定してください。

## 重要

- 周波数表にないグループ、チャンネルに設定しても受信できません。
- チューナーユニットとワイヤレスマイクは同じ設定にしてください。
- モード切換スイッチのない TOA 製デジタルワイヤレスマイクとの組み合わせでは、10 波までの同時使用の場合（下記手順 3、4）に限り使用できます。11 波以上の同時使用の場合（P. 4 手順 5）は使用できません。
- お買い上げ時は、BA1 に設定されています。
- チューナーユニットとワイヤレスマイクのモード切換スイッチを以下のように設定してください。

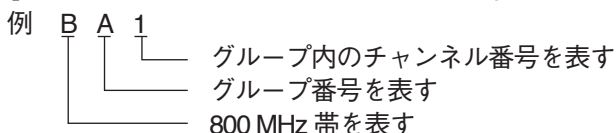


チャンネル設定スイッチ  
グループ設定スイッチ

同時使用数	モード切換スイッチ	設定のしかた
1～10 波まで	10 ch モード（お買い上げ時）	チューナーユニット  P. 6 「モード設定のしかた」
11～15 波まで	15 ch モード	ワイヤレスマイク  ワイヤレスマイクに付属の取扱説明書

- 英数字が表示されていない位置に矢印を設定すると受信できません。

[800 MHz 帯ワイヤレスマイクのチャンネル呼称について]



## ■ 同じ場所でデジタルワイヤレスシステムのみを使用する場合（最大 15 波）

（デジタル専用）

※ GR：グループ、CH：チャンネル

**1** 右の周波数表（デジタル専用）を参照し、グループを「A」～「F」から 1 つ選択する。

**2** その中から使用可能なチャンネルを 1 つ選択する。

各グループとも 5 チャンネルまで使用できます。例えば周波数表の「A」グループの場合、A 列の「BA1」～「BA5」までが使用可能なチャンネルとなります。

**3** 1～5 波まで使用するとき、手順 1 で決めたグループと同じグループの中からチャンネルを選択する。

モード切換スイッチの設定：10 ch モード

**4** 6～10 波まで使用するとき、手順 1 で決めたグループと同時使用可能なグループの中からチャンネルを選択する。（下表を参照）

グループ	チャンネル	
A	1～5	同時使用可能なプラン
B	1～5	同時使用可能なプラン
C	1～5	同時使用可能なプラン
D	1～5	同時使用可能なプラン
E	1～5	同時使用可能なプラン
F	1～5	同時使用可能なプラン

モード切換スイッチの設定：10 ch モード

設定	グループ							周波数 (MHz)	
	GR	CH	A	B	C	D	E		F
F	1							BF1	806.125
D	1					BD1			806.250
B	1		BB1						806.375
E	1						BE1		806.500
C	1			BC1					806.625
A	1	BA1							806.750
F	2							BF2	806.875
D	2					BD2			807.000
B	2		BB2						807.125
E	2						BE2		807.250
C	2			BC2					807.375
A	2	BA2							807.500
F	3							BF3	807.625
D	3					BD3			807.750
B	3		BB3						807.875
E	3						BE3		808.000
C	3			BC3					808.125
A	3	BA3							808.250
F	4							BF4	808.375
D	4					BD4			808.500
B	4		BB4						808.625
E	4						BE4		808.750
C	4			BC4					808.875
A	4	BA4							809.000
F	5							BF5	809.125
D	5					BD5			809.250
B	5		BB5						809.375
E	5						BE5		809.500
C	5			BC5					809.625
A	5	BA5							809.750

**5** 11～15波まで使用するとき、手順1で決めたグループと同時使用可能なグループの中からチャンネルを選択する。(下表を参照)

グループ	チャンネル	
A	1～5	同時使用可能なプラン
D	1～5	
E	1～5	
B	1～5	同時使用可能なプラン
C	1～5	
F	1～5	

モード切換スイッチの設定：15 ch モード

**ご注意**

11～15波まで使用するとき、ワイヤレスマイクの送信出力を「L」に設定してください。設定のしかたは、ワイヤレスマイクに付属の取扱説明書をお読みください。

## ■ 同じ場所でアナログワイヤレスシステムを併用する場合 (最大6波)

**1** 右の周波数表 (アナログ併用) を参照し、グループを「1」～「5」から1つ選択する。

※ グループ6は使用できるチャンネル数が1つしかないのので、対象となりません。

**2** その中から使用可能なチャンネルを1つ選択する。

グループにより使用できるチャンネル数は異なります。(下表を参照)

グループ	チャンネル
1	1～6
2	1～6
3	1～6
4	1～6
5	1～5

例えば周波数表のグループ「1」の場合、「B11」～「B16」までが使用可能なチャンネルとなります。

**ご注意**

で示された2つの周波数を同時に使用する場合は、いずれもアナログワイヤレスシステムを使用するように周波数の配置をしてください。デジタルとアナログ、両方ともデジタルの組み合わせで使用することはできません。

以外の周波数は、アナログでもデジタルでも割り当てできます。

(アナログ併用)

※ GR：グループ、CH：チャンネル

設定		グループ						周波数 (MHz)
GR	CH	1	2	3	4	5	6	
1	1	B11						806.125
2	1		B21					806.250
1	2	B12						806.375
2	2		B22					806.500
3	1			B31				806.625
4	1				B41			806.750
3	2			B32				806.875
2	3		B23					807.000
1	3	B13						807.125
6	1						B61	807.250
3	3			B33				807.375
4	2				B42			807.500
5	1					B51		807.625
1	4	B14						807.750
2	4		B24					807.875
4	3				B43			808.000
5	2					B52		808.125
3	4			B34				808.250
5	3					B53		808.375
2	5		B25					808.500
3	5			B35				808.625
5	4					B54		808.750
2	6		B26					808.875
1	5	B15						809.000
4	4				B44			809.125
3	6			B36				809.250
4	5				B45			809.375
1	6	B16						809.500
5	5					B55		809.625
4	6				B46			809.750

(例 1：アナログマイク 1 本、デジタルマイク 5 本の場合)

- この組み合わせでは使用できません。

(例 2：アナログマイク 1 本、デジタルマイク 4 本の場合)

- グループ 1～4 で使用してください。グループ 5 では使用できません。
- 例えばグループ 1 で使用する場合、B11 と B12 はどちらか一方しか使用できません。

チャンネル呼称	使用可能マイク	
	使用例①	使用例②
B11	デジタル／アナログ	使用しない
B12	使用しない	デジタル／アナログ
B13	デジタル／アナログ	
B14		
B15		
B16		

(例 3：アナログマイク 2 本、デジタルマイク 2 本の場合)

- 例えばグループ 1 で使用する場合、B11 と B12 の両方を使用するときは、その 2 つの周波数にはアナログマイクを配置してください。(使用例④)

チャンネル呼称	使用可能マイク			
	使用例①	使用例②	使用例③	使用例④
B11	デジタル／アナログ	使用しない	使用しない	アナログ
B12	使用しない	デジタル／アナログ (いずれか 4 波を選択)		
B13	デジタル／アナログ (いずれか 3 波を選択)		デジタル／アナログ	デジタル (いずれか 2 波を選択)
B14				
B15				
B16				

# モード設定のしかた

同時使用可能なワイヤレスマイクの本数を 10 本または 15 本に設定できます。  
お買い上げ時は 10 本まで同時使用可能となる設定（10 ch モード）になっています。  
必要に応じてモードを切り換えてください。

## ■ 10 ch モードと 15 ch モードの概要

10 ch モードに設定すると、同時使用可能なワイヤレスマイクの本数は 10 本までとなります。  
15 ch モードに設定すると、同時使用可能なワイヤレスマイクの本数は 15 本までとなります。

### ■ ご注意

- WTU-D2810 とワイヤレスマイクは必ず同じモードに設定してください。  
異なるモードに設定されていると、音が出ません。
- モード切換スイッチのない TOA 製デジタルワイヤレスマイクと組み合わせて使用する場合は、10 ch モードで使用してください。

## ■ モードの切り換えかた

### ■ ご注意

- 静電気による破損を防ぐため、作業前に金属物に触れるなどして、人体や衣服に帯電した静電気を逃がしてから作業を行ってください。
- チューナーユニットの金めっき端子部には触れないようにしてください。

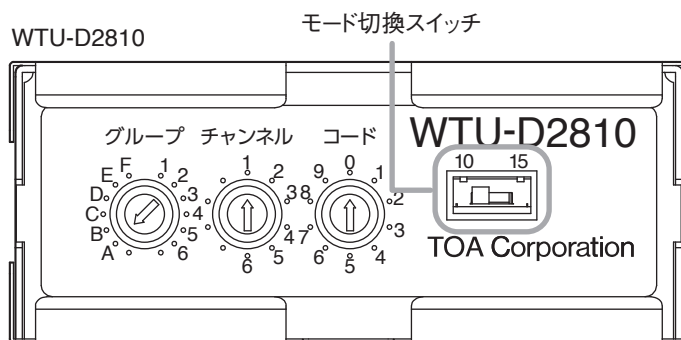
**1** チューナーユニットを組み込んでいる機器の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。

**2** チューナーユニット収納部のふたを外す。

**3** 付属の設定用ドライバーで、モード切換スイッチを切り換える。

「10」側：10 ch モード（お買い上げ時の設定）

「15」側：15 ch モード



**4** チューナーユニット収納部のふたを元どおりに取り付ける。

# コード設定のしかた

## ■ コード設定の概要

WTU-D2810 とワイヤレスマイクの間であらかじめコードを決めておき、ワイヤレスマイクから受信するデジタル信号の中に WTU-D2810 と同じコードが含まれていれば、音声が出力されます。もし、妨害源となる信号を受信しても、コードが一致しなければ、音声は出力されません。

「0」～「9」までの 10 種類のコードを搭載しており、状況に応じて切り換えが可能です。

同一チャンネルを近接した場所で使用する場合に、異なるコードを使用することにより、混信を避けることができます。

### ■ ご注意

WTU-D2810 とワイヤレスマイクは必ず同じコードに設定してください。  
異なるコードに設定されていると、音が出ません。

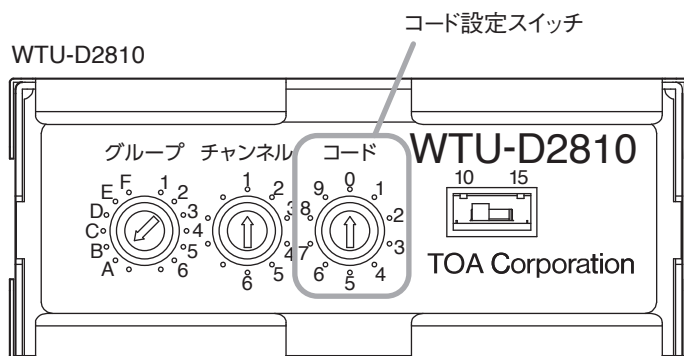
## ■ 設定のしかた

お買い上げ時には、コードは「0」に設定されています。

### ■ ご注意

- 静電気による破損を防ぐため、作業前に金属物に触れるなどして、人体や衣服に帯電した静電気を逃がしてから作業を行ってください。
- チューナーユニットの金めっき端子部には触れないようにしてください。

- 1 チューナーユニットを組み込んでいる機器の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。
- 2 コード設定スイッチがチューナーユニット収納部のふたに隠れているときは、ふたを外す。
- 3 コード設定スイッチの矢印を変更したい数字に合わせる。  
設定には付属の設定ドライバーを使用してください。



- 4 チューナーユニット収納部のふたを外した場合は、元どおりに取り付ける。

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル (固定電話専用) <b>0120-108-117</b>	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

202107